

所属・資格 教育学科・教授

申請者氏名 小野 雅章

研究課題		学校文書の体系的調査・収集——長野県諏訪市高島小学校所蔵文書の研究
報告の概要	研究目的 および 研究概要	<p>本研究は、教育史研究における地域研究を進展させることを目的に、幕末維新时期から現在に及ぶ学校関係文書を体系的に保存している、長野県諏訪市立高島小学校所史料の全容を把握し、それを目録化することにより、教育史における地域研究の新たな方向性を探ることを目的にしている。</p> <p>長野県諏訪市立高島小学校所蔵文書の悉皆調査を行い、分類したうえでの詳細な所蔵資料目録の作成が研究の概要である。そのうえで、同校の所蔵資料の特色と教育史研究における位置づけを行った。</p>
	研究の結果	<p>学校所蔵資料としては、校舎そのものが国宝に指定されている、長野県松本市旧開智学校校舎所蔵資料が質・量ともに群を抜いて有名である。学校運営などの他、日々の教育実践を明らかに出来る資料が整理され、目録化されている。本研究では、この長野県松本市旧開智学校の資料整理を意識しながら、長野県諏訪市立高島小学校所蔵資料の整理を行い、明治期に限定して、その資料目録を完成させるとともに、この史料群の持つ教育史的な意義について、先述の旧開智学校校舎所蔵資料との比較の視点を加えながら考察した。</p> <p>※ なお、本研究は、科研費一般研究(C)による共同研究とも密接に関連している。特に、長野県諏訪市立高島小学校所蔵資料の整理は、共同研究の成果である。</p>
	研究の考察・反省	<p>本研究によって、長野県諏訪市立高島小学校所蔵資料の明治期については、その詳細を明らかにすることができた。これにより、同じ長野県の松本市旧開智学校校舎所蔵の資料との比較検討が可能になった。結果として、教育の地域性や特色を中央の動向を含めた複眼的考察が可能になったことが本研究の大きな成果である。</p> <p>その一方で、資料が厩大なため、目録化が明治期に限定されてしまった。この点については、来年度以降に、大正期・昭和期と目録を進展させる予定でいる。</p>
研究発表 学会名 発表テーマ 年月日/場所	<p>※この欄は、本報告書提出時点で判明している事項についてご記入ください。</p> <p>研究発表 「テーマ解説④：教育史からみる擬洋風校舎——旧開智学校所蔵資料が語る近代教育の「模範」旧開智学校校舎国宝指定記念シンポジウム「旧開智学校校舎の価値とこれからの活用」にむけて」（於松本市立図書館、2019年11月23日）</p>	
研究成果物 テーマ 誌名 巻・号 発行年月日 発行所・者	<p>研究成果物 「日本近代地域教育史研究と学校所蔵史料——旧価値学校と諏訪市立高島小学校の所蔵史料を中心に」『学校所蔵史料の総合的研究——近世から現代に至る学校と地域の関係史』2020年3月、大阪商業大学。</p>	